

## H29 教育活動アンケートについて

### 【教育活動アンケート調査結果】

- 1 学校通信などで、教育の進め方などを分かりやすく伝えていていると思いますか。【学校通信などの広報について】
- 2 お子さんは、基本的な生活習慣（あいさつをする、きまりを守る、掃除をするなど）を身に付けていていると思いますか。【お子さんの様子】
- 3 お子さんは、好ましい友達関係があり、楽しく学校に通っていると思いますか。【お子さんの様子】
- 4 お子さんは、思いやりをもち、助け合う子どもに育っていると思いますか。【お子さんの成長】
- 5 お子さんは、学年に応じた体力を身に付けていていると思いますか。【お子さんの成長】
- 6 お子さんは、学ぶ喜びを知り、進んで学習できていると思いますか。【お子さんの成長】
- 7 学校は、分かりやすい授業を工夫していると思いますか。【学校の取り組み・姿勢】
- 8 学校は、子どもをよく理解し、真剣に対応していると思いますか。【学校の取り組み・姿勢】
- 9 お子さんの様子について、先生と十分に連絡などが取れていると思いますか。【学校の取り組み・姿勢】
- 10 お子さんのことについて、学校に気軽に相談できると思いますか。【学校の取り組み・姿勢】
- 11 危険個所などへの配慮がなされ、学校の施設、環境は整えられていると思いますか。【学校側の配慮など】
- 12 学校は、保護者や地域の人と協力して学校教育を進めていると思いますか。【学校側の配慮など】

	回答総数			回収率								
	248			73.8%								
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
Aの割合(%)	35	33	54	44	38	24	31	30	37	27	29	24
Bの割合(%)	56	62	40	52	49	55	55	56	52	55	59	59
Cの割合(%)	7	4	4	4	11	17	8	9	8	12	6	7
Dの割合(%)	0	1	1	0	2	4	0	0	1	2	1	2
分からない割合(%)	2	0	1	0	0	0	6	5	2	4	5	8
肯定的回答(%)	91	95	94	96	87	79	86	86	89	82	88	83
否定的回答(%)	7	5	5	4	13	21	8	9	9	14	7	9
分からない(%)	2	0	1	0	0	0	6	5	2	4	5	8

A～大変（よく）そう思う      B～まあまあ（だいたい）そう思う  
 C～あまりそう思わない      D～（全く）そう思わない

### 【アンケート結果の考察】

〈全体概要より〉

- ・ 今回のアンケートの回収率は73.8%に止まった。逆に考えると全保護者の1/4の方が、「学校教育がよく分からず評価できない」「調査時期・期間に問題がある」「設問がよく分からない」等を感じているのではないかと考えられます。保護者と共に子どもを育てるという観点や今後の学校教育の在り方を考える上でも、アンケート内容や実施時期等の再考が必要であるのではないかと考えています。
- ・ アンケート項目1、2、3、4の4項目の肯定的意見が90%を超えています。学校教育活動内容や子どもの活動状況等の周知ができていることが伺えます。特に、「子ども達が学校へ楽しく通い、友達への配慮等友人関係も良好である」、また「子どもの優しい心が育っている」と感じている保護者が多いことが分かります。これは、学校教育目標の一つでもあり、大きな成果です。しかし、この結果に甘んじることなく、今後も努力を重ねていかなければならない項目

であると考えています。

- アンケート項目5、6、10の3項目の否定的意見が10%を超えています。子ども達の学力の向上・定着は学校のもっとも大きな課題の1つでもあり、早急に対応を行わなければならないことです。また、「自ら学び続ける子どもの育成」という次期学習指導要領の観点からも、喫緊の課題と考えています。今後職員の研修を進めると共に、子どもの意識改革(学ぶ意義の理解)等を進めます。子ども達には、「なぜ勉強をしないといけないのか」を折に触れ、キャリア教育の視点から指導を行い、さらに「家庭学習のすすめ」から、「何をどのように勉強をすると良いか」の理解と実践、評価(賞賛や意欲の向上)を行っていきたいと考えています。
- 項目の回答が「分からない(判断できない)」との回答が多かったものは、アンケート項目7(授業の工夫)、12(保護者や地域との協力)の2項目です。

授業参観日の周知を行うのは勿論、授業参観日以外でも保護者の方が授業を参観することは可能です。また、授業の工夫は、子どもの理解を促すものです。今後も「わかる授業」を目指し、授業の工夫を重ね、学力向上に向け授業研究を進めていきたいと考えています。

「地域と学校が協力して地域の子どもを育てる」「地域の中の学校」とよく言われます。今後さらに地域や保護者の方と協力をしながら、学校教育を進めていきたいと考えています。

### 〈観点ごとの考察〉

今回のアンケートは、「広報について」「お子さんの様子」「お子さんの成長」「学校の取り組み・姿勢」「学校側の配慮」の5観点について行いました。観点ごとに考察を行います。なお、自由記述欄へたくさんのご意見等を書いて頂きましたが、各観点に関係があると思われる内容につきましては、点線四角囲み内に記載させていただきます。自由記述欄にご記入頂きました内容につきましては、学校として真摯に受け止め、今後の学校教育に生かしていきたいと考えています。

#### ○「広報について」について(質問項目1)

91%の方から肯定的な回答を得ています。「学校通信」や「学年通信」等を毎月発行し、学校の様子をお知らせしていますが、今後も「開かれた学校」を目指し、学校の様子や取り組み、学習内容等を通信にてお知らせしたいと考えています。今後ともよろしく願います。

・学校通信の言葉に、毎回助けられたり、自分の子育てについて振り返らせていただいたりしています。有り難うございます。担任の先生にも、校長先生をはじめ他の先生方にも温かく見守られ、子どもが学校大好きであります。

#### ○「お子さんの様子」について(質問項目2, 3)

2つの項目共に、90%以上の方から、肯定的な回答を得ています。学校全体から、大多数の子ども達は、元気に学校に登校し、友人関係は良好で楽しく学校生活を送れているようです。しかし、学校の決まりが守れなかったり、友人関係のトラブルに悩んだりした経験がある子どももいます。社会生活を送る上で必要な生活習慣形成のため、その都度細やかな指導を行っています。今後も保護者や地域の方との連携を行いながら、粘り強く指導を行っていくつもりです。友人関係のトラブルや悩みについては、該当児童の話をじっくりと聞き、指導を行っています。また、必ず保護者へ連絡を行い、学校と家庭が協力して子ども達を育てていくようにしています。また、質問項目8との関連がありますが、質問項目8では86%の保護者が肯定的な回答をされていますが、9%の方が不安を持たれています。この点にも注目して、今後学校でも職員の総括を行い、改善に取り組みたいと考えています。

さらに、本校の児童は「あいさつがよくない」とのご指摘を受けています。あいさつは良好な人間関係の構築の上で大切なことといわれています。あいさつの大切さや、自ら進んであいさつをする習慣づくり(あいさつ運動等)に取り組みたいと考えています。

- ・通学路や学校で児童に会うことがよくありますが、挨拶をする子は少ない。ほとんどいないと思います。決まりを守るという部分からは、通学路での指導、歩き方などきちんと定期的に行って欲しいと思います。自転車などの乗り方（止め方）、下級生との接し方なども・・・。
- ・通学中の子ども達のルール、マナーの悪さが目に付くことがあります。きちんとできている子ども達が多い中、近隣の畑に入ったり、自動販売機にいたづらをしたりしている子がいるので、学校での指導をお願いします。
- ・先生方はとてもよく子ども達に声をかけてくれ、これからも温かく子ども達を見守って欲しいです。決まりを守らない生徒には、厳しくても良いと思います。勉強している生徒の邪魔はしないで欲しいです。

#### ○「お子さんの成長」について（質問項目4、5、6）

質問項目4の「思いやりや助け合う子どもの育成」については、肯定的な回答が96%であるが、質問項目5「体力」と質問項目6「意欲的な学習」では、否定的な回答がそれぞれ13%と21%と多くなっています。

本校では、低学年で地域の年長者との交流、4年生で小池特別支援学校との交流を行っています。また、保育園、幼稚園児童との交流、訪問等での高齢者との交流等の活動を通して「心の教育」を実践しているところです。その中で、人の心を大切にすることを今後も考え、実践していきたいと思っています。

体力と学力に関しては、学校教育の成果が十分に現れていないと感じておられる保護者が多いという結果が表れています。学力は健やかな体の育成があってこそ、と考えています。体育の授業や休み時間（持久走記録会前は中休みに「ランランタイム」）を実施）等を活用・工夫した取り組みを行うことにより、体力の向上に努めていきます。学力については、学習意欲が重要となります。これから生きていく子ども達には「自ら考え、解決していく能力」が求められています。この学力を育てるために、今後学校でも授業を工夫し、自らが学ぶ意欲を高め、基礎的な学力の定着や問題解決能力の育成に取り組んでいきたいと考えています。さらに、家庭学習も重要と考えています。宿題だけでなく、「これを学びたい」「この勉強をしよう」という子どもの意思を大切にしたい学習ができるように学校でも、折に触れて実感できるように指導を行っていききたいと考えています。「家庭学習」について子ども達に声かけを行っている内容を記載します。

（宿題＋自主的な家庭学習）の時間のめやす：

1年生10～20分、2年生20～30分、3年生30～40分、  
4年生40～50分、5・6年生1時間以上

- ・子どもが大変お世話になっています。校長先生をはじめ、諸先生方、本当に子ども達のために力を注いで下さっていることに感謝しております。4年生は小池学園との交流を通して心の勉強をしたり、体験をしたり、2年生は、1年生を招いてゲームの遊び場を作ったり・・・と色々と各学年で考えて下さって有り難く思っています。日頃より、勉強だけでなく、あらゆる事に気を配って下さり、大変申し訳なく思っております。色々なこともありましたが、先生方の一生懸命、熱心にして下さっている事、本当に感謝しています。有り難うございました。
- ・先日の授業参観に参加しましたが、我が子も含めて、理解できていない子が多かったようです。テストの点数も悪くなったので、家でフォローをしっかりとらなければ・・・と。もう少しフォローの先生を増やせないでしょうか。
- ・自学の必要性を子どもがあまり感じていないので、その分宿題を増やす、ドリルや反復や小テストなどをもう少し取り入れるなどして欲しい。結局、学習面の習い事（塾など）が必要になってくる気がします。

#### ○「学校の取り組み・姿勢」について（質問項目7、8、9、10）

各項目とも、肯定的な回答は80%台です。質問項目7（わかりやすい授業）と質問項目8（子ども理解）は、学校において最も重要な項目です。現在、理科専科授業や少人数指導（算数）に力を入れています。さらに、担任外の先生にも授業の補佐として教室に入り、低・中・高学年に分かれ、指導を行っています。今後も一人ひとりの子どもを大切にし、個に応じたきめ細かな指導を今後一層充実していかなければならないと考えています。

特に、児童理解や学力向上については、職員研修等を行いながら教育力の向上を目指していま

す。児童を理解した上での学習指導という面もあります。全職員で1人の児童に関わり、育てる教育活動の推進に力を入れていきます。また、授業の工夫についても、現在進められている教育改革にのっとり、「考えて学ぶ」授業への工夫を行っていきたくと考えています。

保護者との連携に関わる、質問項目9（教師との連携）と質問項目10（学校への相談）についても、「保護者と共に子どもを育てる」「開かれた学校」等を念頭に置き、子どもを中心とした学校教育活動を行っていきます。学校から、子どもの様子等積極的にご連絡をさせて頂きと共に、保護者の方からも、些細なことでも構いませんのでご連絡をいただけると幸いです。

また、自由記述欄に、学校への要望等も記載されていましたが、保護者の方のこのような要望があるということを念頭に置き、今後検討させて頂きたいと考えています。

- ・各行事で校区が広い故に、自家用車で来校の保護者が必ず数人いらっしゃると思います。上の子どもが江川小学校にお世話になっていた頃は、今より車の数も多かったですが、その頃より、お迎えの車等が多く、車の件で非常にご近所の方に迷惑をかけている回数が多いのかもしれませんが、ちょっとの間だからとか甘く思っていることかもしれませんが、子どもの目も、他人様の目もあります。節度を守って行動できたらと思います。
- ・他の学校に比べて、土曜日授業が少ないと思います。
- ・先日持久走大会の日は、寒い中先生方も一緒に走って頂き有り難うございました。応援に行きましたら・・・先生が子どもさんと一緒に走られながら「今日この子は一度も歩かずに頑張らずっと走っていますよ～」とおっしゃっていた姿にとっても感動致しました。我が子もその日は歩かず最後まで走ったそうで、日頃からのご指導に感謝いたします。
- ・校長先生はじめ、担任の先生も、今までお世話になった先生方、担任ではない先生方もよく子どものことを見て、気にして下さい、大変安心してお任せすることができています。子ども達も学校に毎日行くのが楽しみで、本当に学校のことが大好きです。子ども達のことを愛情いっぱいに見守って頂いていると痛感しています。
- ・未就学児の子がいるのに（特にまだ歩けない乳児）、歩いて学校に参観に来ないといけないのは負担が大きい。タクシーで行くのがあたりまえなのか疑問である。子どもが通学しているのだから、親も歩いてこられるはず、というのは違うと思う。配慮が必要な人もいる。
- ・ランドセルが重く、体に負担がかかっている子どもがいるので、主要教科以外の教科書は学校においている学校があるとの記事を見ました。確かにランドセルは本当に重いです。図工や音楽などの教科書は家で使うことはないと思います。少しでも負担のないように、江川小学校でも検討して頂ければと思います。

#### ○「学校側の配慮」について（質問項目11、12）

校内の危険箇所等については、毎月1回の「校内安全点検」を職員で行っています。またスクールヘルパーとも連携し、子ども達の事故やケガ防止に努めています。危険箇所等があった場合は、本校校務員と連携し、速やかな改修に努めています。

また、保護者や地域と連携しての学校教育の推進については、まだ不十分な面があると感じています。昨年度より、地域の年長者を迎え、「ふれあい給食」等を企画していますが、今後も様々な場面で地域との交流を進めていきたくと考えています。

自由記述欄の記述に見られます、「学級閉鎖等の連絡」ですが、保護者の中でも様々なご意見があるようですが、今後十分に検討をさせて頂きたいと考えています。

- ・図書室へ向かう渡り廊下の屋根の設置。 現3-1の子どもたちの不便さを感じます。
- ・事故やケガなどの情報も教えて欲しい。
- ・インフルエンザで学級閉鎖になったとき、他の学年やクラスの情報も知らせて欲しいです。状況を知ること、自分のクラスが早退・休みになったときの対応がしやすくなります。（子どもにカギを持たせる、仕事の調整ができるかどうか、前もって確認ができるなど・・・）。〈他同様のご意見が3件ありました〉

保護者や地域の皆様には、本校の教育活動を見守っていただき、本当に感謝しております。皆様の声に耳を傾けながら、一人一人の児童が健やかに育つよう、全職員一丸となって教育活動を展開していきたくと思います。今後江川小学校教育に対し、ご理解とご協力を賜りますように、どうぞよろしくお願いいたします。

なお、自由記述欄に記述されたご意見やご要望等につきましては、学校として真摯に受け止め、努力をさせて頂きたいと考えていますので、どうぞよろしくお願いいたします。